

南内田公民館

昭和22年に建築され、北と南の二か所に玄関を有し、左右対称に近く風格ある外観です。平成26年4月に国の登録有形文化財に指定されています。

北熊井城跡

小笠原氏が熊井城をつくりました。その後、武田に敗れて北熊井城として生まれ変わりました。中信地区の経営に乗り出すために大きく造り直した城跡です。



大宮八幡宮

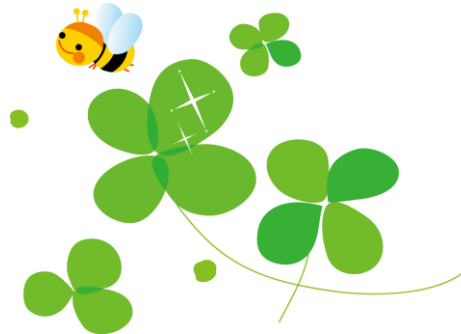
戦勝祈願成就の武田信玄公が奉納したと伝えられる弓と矢が残されています。信玄旗建てのイチイの木は、今は幹の枯れた古木となっています。

天明2年（1782年）に完成した本殿は、県宝です。建築形式は、一間社流造であり、大隅流柴宮長左衛門の手による彫刻は、華麗、ダイナミックです。



北熊井諏訪社

★片丘地区の見どころ★



無量寺

無量寺四世直西が小判を投入した鑄材で鑄物師浜伊右衛門に依頼した半鐘「リキセイ（直西）の鐘」で知られています。（市有形文化財）

平安時代には東山にありましたが移築、兵火により江戸時代に現在の地に移されました。本尊の如意輪観音坐像は市の有形文化財で享保13年（1728年）京都嵯峨の法輪寺から譲り受けたものです。



常光寺